

キ  
O 航空ノ増援ハ戦力アル部隊ヲ内地防空兵カト勘察シツツ遂次増  
加投入セリ

セ 第三十二軍ハ何時首里ヲ撤退セシヤ  
本撤退ニ關シ帝國大本營及第二十二軍團ニ如何ナル通信カ交換  
セラレシヤ

A 第三十二軍ハ五月二十三日頃ヨリ撤退ヲ準備シ後方部隊ヨリ逐  
次撤退ヲ開始シ全軍新陣地ニ就キタルハ六月一日頃ナリ  
第三十二軍司令部ハ五月三十日頃首里ヲ出發南進シタルモノノ  
如シ  
B 撤退ニ關スル通信ナシ

陸軍

大本營ハ混亂セル現地ノ作戦ニ關與スルハ不適當ナリトノ見解  
ノモトニ第二十二軍ノ撤退ハ事後的ニ之ヲ承認セリ

八 帝國大本營ハ沖繩作戦及沖繩ノ喪失ニ如何ナル重要性ヲ附與セ  
シヤ

答

沖繩島ニ米空海軍基地ノ推進ヲ許ス時ハ帝國本七ノ大半ハ其ノ戰  
烈ナル空襲範圍内ニ包含セララルニ至リ大氣戰争遂行上重大ナル  
階梯ニ到達スルモノト考察シアリタリ

硫黃島ノ失墜ト相俟ツテ大本營ハ直接且明確ニ次期作戦カ本七上  
陸作戦（此ノ間若干ノ基地獲得作戦生起スルト豫期ス）ニ指向セラ  
ルヘント判断シ本七決戦作戦ヲ準備セリ

從ツテ沖繩作戦開始以降ニ於テハ沖繩島ニ對スル兵力ノ強  
化時トシテ考慮セラレサリシニハアラサルモ制空海軍ノ所在、輸

（大體別分漸セラレ本七）

送力ノ諸點ヨリ陸軍兵力ノ増援ヲ企圖スルコトナク航空作戦ヲ強  
化シツツ他ノ全力即チ支那ハ勿論總テノ作戦ヲ本土決戦ニ寄與ス  
ル如ク更ニ換言スレハ本土作戦ノ從屬作戦トシテ指導セラレタリ  
九一四四年十月十日航空母艦ヨリノ攻撃ニヨリ那覇ニ於テ爆り  
タル砲彈及臼砲彈ノ損害數如何

答

一九四四年十月十日ノ空襲ニ於テ未ダ揚陸シアラサル各種砲彈（  
十五榴迫撃砲彈ヲ含ム）共ニ相當ノ大數ヲ喪失セリ  
但シ其詳細ハ報告ニ接シアラサルヲ以テ不明ナリ